



「ママが働く」を考えよう！ Vol.2

一般社団法人 ママとね

【事業背景および目的】

女性活躍は、今、国家的にも喫緊の課題である。しかし、とくに産後の女性にとっては子育てしながらの情報収集は時に難しく社会復帰に不安を抱える母親も少なくない。

2017年度に開催した第1弾では、再就職復職に向けた悩みや不安を参加者同士でシェアし、様々な働き方の先輩ワーママからアドバイスを得た。

今回の第2弾では、より具体的な行動に踏み込むため、育休復帰や再就職時の面接を意識し、(未来の)職場に何を伝えたいか、そのために何を事前に準備したらよいのか、グループを組みロールプレイ形式で学ぶことを目的とした。

「ママとね♡」とは・・・

出産後に静岡県東部に転入し、孤独育児を経験したママ二人が2014年2月に立ち上げた母親支援団体。2017年4月に法人化（非営利型 一般社団法人）。

静岡県東部の子育て情報サイト「ママとね♡」の企画運営のほか、子育て応援詩集「トツキトウカSHIZUOKA EAST」の企画発行、リアルな繋がりづくりのための各種座談会・講座なども開催。

徹底的な“ママ目線”にこだわり、地域とのつながりを大切に活動している。



【パネリスト】

先輩ママ： 正社員2名（それぞれ、時短およびフルタイム経験あり）
パート勤務 1名

企業側： マックスバリュ東海さま 人事部より1名

ファシリテーター： ママとね より1名

【講座内容】

参加者は働き方によってグループ分けをし、「ロールプレイ」を行った。

場面1： 再就職／復職時の上司との面談

場面2： 家族に再就職／復職に際して協力要請をする際の、家族とのやりとり
上記の2場面でのロールプレイを通して、何が不安か、面接の時に何をどう伝えるか、家族にどう話すかどう協力を得るか、**そもそもなぜ働きたいのか、等々自分に向き合い、さらに意見交換をしながら各自の考えを整理した。**

※さらに前向きに一步を踏み出せるよう、ママパネリストからのアドバイス、企業側からの考えを拝聴する時間もロールプレイの合間に挿入した。

【交流会】 産後の復帰が非常に難しい飲食業界でワークシェアにより活動を実現している日本ウーマンズシェフ&パティシエ協会(wcp)から復職時の苦労、コツなどを先輩ワーキングマザーとして語っていただいた。その後、参加者同士の交流を深めてもらった。

【参加者の感想】

「実際に（ロールプレイの中で）説明しようとする、**案外言葉が出ないことがわかった**」「（役をもらって）回答する中で、**自分の考えが整理されてきた**」また、オブザーバー役・企業側の役となった方からは「**自分の思いもなかった観点を**知ることができて非常に有意義だった」「よい点はぜひ自分の実際の場面でも取り入れていきたい」など**具体的に自分事として捉え考えることができたことを伺われた。**



【今後の展開】

今回まで、「『ママが働く』ことを考えよう」というテーマの講座は、当団体で5回開催しており、さまざまな知見や、ママたちの本音が蓄積されてきた。

そこで、これを実際の講座に参加できなかったが情報が必要な方、講座終了後に興味をもった方にも届けていくために、当団体ウェブサイト、今までの講座を基にして、シリーズ化した記事を作成発信する予定である。

平成30年度 民間支援まちづくりファンド採択事業